

(第一面)

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

東京都知事

殿

平成 27 年 11 月 8 日

報告者氏名

バームハイツ西葛西 管理組合理事長 関根 弘二

(所有者（管理者がある場合は管理者）)

調査者氏名

戸坂 俊勝

## 【1 所有者】

【イ 氏名のフリガナ】 バームハイツニカサイ クラウンジョウシヤイトウ  
【ロ 氏名】 バームハイツ西葛西 区分所有者一同  
【ハ 郵便番号】 134-0088  
【ニ 住所】 東京都江戸川区西葛西3-3-13  
【ホ 電話番号】 03-3686-1971

## 【2 管理者】

【イ 氏名のフリガナ】 バームハイツニカサイ カンリクミアイリジヤウ セキネ コウジ  
【ロ 氏名】 バームハイツ西葛西 管理組合理事長 関根 弘二  
【ハ 郵便番号】 134-0088  
【ニ 住所】 東京都江戸川区西葛西3-3-13  
【ホ 電話番号】 03-3686-1971

## 【3 調査者】

(代表となる調査者)

【イ 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号  
建築基準適合判定資格者 第 19427 号  
登録調査資格者講習を修了した者

【ロ 氏名のフリガナ】 トサカ トシヲ  
【ハ 氏名】 戸坂 俊勝  
【ニ 勤務先】 株式会社 ファーストメイン  
( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録 第 号

【ホ 郵便番号】 135-0002  
【ヘ 所在地】 東京都江東区住吉1-17-20 住吉ビル6F  
【ト 電話番号】 03-3846-8777

(その他の調査者)

【イ 資格等】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号  
建築基準適合判定資格者 第 号  
登録調査資格者講習を修了した者

【ロ 氏名のフリガナ】  
【ハ 氏名】  
【ニ 勤務先】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録 第 号

【ホ 郵便番号】  
【ヘ 所在地】  
【ト 電話番号】

## 【4 報告対象建築物】

【イ 所在地】 東京都江戸川区西葛西3-3-13  
【ロ 名称のフリガナ】 バームハイツニカサイ  
【ハ 名称】 バームハイツ西葛西  
【ニ 用途】 共同住宅

## 【5 調査による指摘の概要】

【イ 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☐ 指摘なし  
【ロ 指摘の概要】 (要是正 (既存不適格を除く)) 建築物の内部

(既存不適格) 建築物の内部、避難施設等

【ハ 改善予定の有無】 (要是正の指摘あり) ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☒ 無

【ニ その他特記事項】 (特記事項あり)

※受付欄	受付 27.11.18 公益財団法人東京都防災・建築 まちづくりセンター	27.12.15 市街地建築部建築企画課 収受	※記事欄	※判定欄
------	---	-------------------------------	------	------

【8 備考】

100

1. この用紙は、第二面【3. 階別用途別床面積】欄の【4. 階別用途別】欄が不足した場合にご利用ください。
2. 用途はなるべく具体的に記入してください。
3. 上詰めで上の階から順に記入してください。

## 調査等の概要

## 【1 調査及び検査の状況】

【イ 今回の調査】 平成 27 年 10 月 5 日 実施  
 【ロ 前回の調査】 ☒ 実施 (平成 24 年 12 月 12 日 報告) ☐ 未実施  
 【ハ 建築設備の検査】 ☒ 実施 (平成 27 年 1 月 29 日 報告) ☐ 未実施  
 【ニ 昇降機等の検査】 ☒ 実施 (平成 26 年 8 月 15 日 報告) ☐ 未実施

## 【2 調査の状況】

(敷地及び地盤)

【イ 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☒ 指摘なし  
 【ロ 指摘の概要】

【ハ 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定)  
☐ 無

(建築物の外部)

【イ 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☒ 指摘なし  
 【ロ 指摘の概要】

【ハ 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定)  
☐ 無

(屋上及び屋根)

【イ 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☒ 指摘なし  
 【ロ 指摘の概要】

【ハ 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定)  
☐ 無

(建築物の内部)

【イ 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☐ 指摘なし  
 【ロ 指摘の概要】 防火設備

【ハ 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定)  
☒ 無

(避難施設等)

【イ 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり ( ☒ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☐ 指摘なし  
 【ロ 指摘の概要】

【ハ 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定)  
☐ 無

(その他)

【イ 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 特記すべき事項あり ☒ 指摘なし  
 【ロ 指摘の概要】

【ハ 改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定)  
☐ 無

(注：ロ 指摘の概要については、既存不適格を除く要是正の指摘事項のみについて記載のこと。)

## 【3 石綿を添加した建築材料の調査状況】

(該当する室)

【イ 該当建築材料の有無】 ☐ 有 (飛散防止措置 無) ( )  
☐ 有 (飛散防止措置 有) ( )  
☒ 無

【ロ 措置予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

## 【4 耐震診断及び耐震改修の調査状況】

【イ 耐震診断の実施の有無】 ☐ 有 (耐震性の有無 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明)  
☐ 無 (平成 年 月に実施予定) ☒ 対象外

【ロ 耐震改修の実施の有無】 ☐ 有 ☐ 無 (平成 年 月に実施予定) ☒ 対象外

## 【5 建築物等に係る不具合等の状況】

【イ 不具合等】 ☐ 有 ☒ 無

【ロ 不具合等の記録】 ☐ 有 ☐ 無

【ハ 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (平成 年 月に改善予定)  
☐ 予定なし

## 【6 備考】管理者氏名に変更あり



(第四面)

建築物等に係る不具合等の状況

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

(注意)

1 各面共通関係

- ① ※印のある欄は、記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

調査結果表

様式 その1

当該調査に関与した調査者		氏 名	調査者番号				
	代表となる調査者	戸坂 俊勝					
	その他の調査者						

番号	調 査 項 目		適用の有無	指摘なし	要是正	既存不適格	特記事項	調査結果等	担当調査者番号	
								要是正事項 (既存不適格を含む) 又は特記事項の 具体的内容		
1	敷地及び地盤									
(1)	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	○	○						
(2)	敷地	敷地内排水の状況	○	○						
(3)	敷地内の通路等	敷地内の通路等の確保の状況	○	○						
(4)		有効幅員の確保の状況	○	○						
(5)		敷地内の通路等の支障物の状況	○	○						
(6)	共同住宅等の主要な出入り口からの通路等	通路等の確保の状況	○	○						
(7)		通路等の支障物の状況	○	○						
(8)	窓先空地及び屋外通路	窓先空地の確保の状況	○	○						
(9)		窓先空地から道路等に至るまでの屋外通路の確保の状況	○	○						
(10)		窓先空地又は窓先空地から道路等に至るまでの屋外通路等の支障物の状況	○	○						
(11)	塀	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況								
(12)		組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況								
(13)	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況								
(14)		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況								
(15)	がけ	がけの安全上の支障の状況								
(16)	敷地に直接設置した広告塔及び広告板	広告塔及び広告板本体の劣化及び損傷の状況								
(17)		支持部分等の劣化及び損傷の状況								
	その他の特記事項		/	/	/	/	/			
2	建築物の外部									
(1)	基礎	基礎の沈下等の状況	○	○						
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況	○	○						
(3)	土台(木造に限る。)	土台の沈下等の状況								
(4)		土台の劣化及び損傷の状況								
(5)	外壁く体等	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況	○	○						
(6)		木造の外壁く体の劣化及び損傷の状況								
(7)		組積造の外壁く体の劣化及び損傷の状況								

(8)	外壁	く体等	補強コンクリートブロック造の外壁く体の劣化及び損傷の状況							大規模修繕実施（平成22年1月～7月）		
(9)			鉄骨造の外壁く体の劣化及び損傷の状況									
(10)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁く体の劣化及び損傷の状況	○	○							
(11)		外装仕上材等	タイル、石ばり等(乾式工法によるものを除く。)、モルタル等の劣化及び損傷の状況	○	○							
(12)			乾式工法によるタイル、石ばり等の劣化及び損傷の状況									
(13)			金属系パネル(帳壁を含む。)の劣化及び損傷の状況									
(14)			コンクリート系パネル(帳壁を含む。)の劣化及び損傷の状況									
(15)		窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況	○	○							
(16)			はめ殺し窓のガラスの固定の状況	○	○							
(17)		外壁に緊結された 広告板、空調室外機等	機器本体の劣化及び損傷の状況	○	○							
(18)	支持部分等の劣化及び損傷の状況		○	○								
その他の特記事項				/	/	/	/	/	/			
3 屋上及び屋根												
(1)	屋上面		屋上面の劣化及び損傷の状況	○	○							
(2)	屋上周り(屋上面を除く。)		パラペットの立上り面の劣化及び損傷の状況	○	○							
(3)			笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況	○	○							
(4)			金属笠木の劣化及び損傷の状況									
(5)			排水溝(ドレーンを含む。)の劣化及び損傷の状況	○	○							
(6)	屋根		屋根の防火対策の状況	○	○							
(7)			屋根の劣化及び損傷の状況	○	○							
(8)	機器及び工作物(冷却塔設備、広告塔等)		機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況	○	○							
(9)			支持部分等の劣化及び損傷の状況	○	○							
その他の特記事項				/	/	/	/	/	/			
4 建築物の内部												
(1)	防火区画	令第112条第9項に規定する区画の状況		○		○	○			ELV昇降路の未区画（南側1～10階）		
(2)		令第112条第1項から第3項まで又は同条第5項から第8項までの各項等に規定する区画の状況		○	○							
(3)		令第112条第12項、第13項等に規定する区画の状況										
(4)		条例第8条に規定する区画の状況		○		○	○			ELV昇降路の未区画（南側1～10階）		
(5)		防火区画の外周部	令第112条第10項に規定する外壁等及び同条第11項に規定する防火設備の処置の状況	○	○							
(6)			令第112条第10項に規定する外壁等及び同条第11項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況	○	○							

(7)	壁の室内に面する部分	く体等	木造の壁の室内に面する部分のく体の劣化及び損傷の状況								
(8)			組積造の壁の室内に面する部分のく体の劣化及び損傷の状況								
(9)			補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分のく体の劣化及び損傷の状況								
(10)			鉄骨造の壁の室内に面する部分のく体の劣化及び損傷の状況								
(11)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分のく体の劣化及び損傷の状況	○	○						
(12)		令第115条の2の2第1項第1号に掲げる基準に適合する準耐火構造の壁、耐火構造の壁又は準耐火構造の壁(防火区画を構成する壁等に限る。)	準耐火性能等の確保の状況	○	○						
(13)			部材の劣化及び損傷の状況	○	○						
(14)			鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況								
(15)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況	○	○						
(16)		令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況	○	○						
(17)		令第129条各項等に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上の維持保全の状況	○	○						
(18)	床	く体等	木造の床く体の劣化及び損傷の状況								
(19)			鉄骨造の床く体の劣化及び損傷の状況								
(20)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床く体の劣化及び損傷の状況	○	○						
(21)		令第115条の2の2第1項第1号に掲げる基準に適合する準耐火構造の床、耐火構造の床又は準耐火構造の床(防火区画を構成する床に限る。)	準耐火性能等の確保の状況	○	○						
(22)			部材の劣化及び損傷の状況	○	○						
(23)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況	○	○						
(24)	天井	令第129条各項等に規定する建築物の天井の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上の維持保全の状況	○	○						
(25)			室内に面する部分の仕上の劣化及び損傷の状況	○	○						
(26)		おおむね500平方メートル以上の空間を有する建築物	おおむね500平方メートル以上の空間の天井における耐震対策の状況								
(27)	防火設備(防火戸、シャッターその他これらに類するものに限る。)	防火設備(防火戸、シャッターその他これらに類するものに限る。)	区画に対応した防火設備の設置の状況	○		○	○			ELV乗場戸の遮煙性能不適(南側1～10階)	
(28)			居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備におけるくぐり戸の設置の状況								
(29)			昭和48年建設省告示第2563号第1第1号ロに規定する基準への適合の状況	○	○						
(30)			常時閉鎖又は作動をした状態にあるもの以外の防火設備における煙又は熱を感知し自動的に閉鎖又は作動させる装置の設置の状況								
(31)			防火戸の開放方向	○	○					屋内階段特定防火設備(常閉)戸当たりの為、閉鎖せず(4階、5階、7階、9階、11階、12階) 屋内階段特定防火設備(常閉)自閉せず(ドアクローザー不良)(3階、4階、5階、6階、7階、8階、9階、11階)	
(32)			本体と枠の劣化及び損傷の状況	○		○					
(33)			防火設備の閉鎖又は作動の状況	○		○					

その4

(34)	防火設備(防火戸、シャッターその他これらに類するものに限る。)		閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況	○	○						
(35)			常時閉鎖の防火戸の固定の状況	○	○						
(36)	照明器具、懸垂物等		照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況	○	○						
(37)			防火設備の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況	○	○						
(38)	居室の採光及び換気		採光のための開口部の面積の確保の状況	○	○						
(39)			採光の妨げとなる物品の放置の状況	○	○						
(40)			換気のための開口部の面積の確保の状況	○	○						
(41)			換気設備の設置の状況	○	○						
(42)			換気設備の作動の状況								
(43)			換気の妨げとなる物品の放置の状況	○	○						
(44)	石綿等を添加した建築材料		吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の使用の状況								
(45)			吹付け石綿等の劣化の状況								
(46)			除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況								
(47)			囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況								
	その他の特記事項			/	/	/	/	/	/		
5 避難施設等											
(1)	令第120条第2項に規定する通路等		令第120条第2項に規定する通路等の確保の状況	○	○						
(2)	廊下		幅の確保の状況	○	○						
(3)			行き止まり廊下の状況								
(4)			物品の放置の状況	○	○						
(5)	出入口等		出入口等の確保の状況	○	○						
(6)			物品の放置の状況	○	○						
(7)	屋上広場		屋上広場の確保の状況								
(8)	避難上有効なバルコニー		避難上有効なバルコニーの確保の状況	○	○					隣戸避難	
(9)			手すり等の劣化及び損傷の状況	○	○						
(10)			物品の放置の状況	○	○						
(11)			避難器具等の設置の状況	○	○					避難ハッチ有り（独立バルコニー）	
(12)			避難器具の操作性の確保の状況	○	○						
(13)	階段	階段	直通階段の設置の状況	○	○						
(14)			幅の確保の状況	○	○						
(15)			手すりの設置の状況	○		○	○			屋内階段に握れる手摺未設置	

その5

(16)	階段	階段	物品の放置の状況	○	○						
(17)			階段各部の劣化及び損傷の状況	○	○						
(18)		屋内に設けられた避難階段	階段室の構造の確保の状況	○	○						
(19)		屋外に設けられた避難階段	屋内と階段との間の防火区画の確保の状況	○	○						
(20)			開放性の確保の状況	○	○						
(21)		特別避難階段	バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況								
(22)			付室の排煙設備の設置の状況								
(23)			付室の排煙設備の作動の状況								
(24)			付室の外気に向かって開くことができる窓の状況								
(25)			物品の放置の状況								
(26)	排煙設備等	防煙壁	防煙区画の設置の状況	○	○						
(27)			防煙垂れ壁の劣化及び損傷の状況								
(28)			可動式防煙垂れ壁の作動の状況								
(29)		排煙設備	排煙設備の設置の状況	○	○						1階集会室 自然排煙設備 管理室は告示適用
(30)			排煙設備の作動の状況								
(31)			排煙口の維持保全の状況	○	○						
(32)	その他の設備等	非常用の進入口等	非常用の進入口等の設置の状況	○	○						非常用進入口に代わる窓
(33)			非常用の進入口等の維持保全の状況	○	○						
(34)		非常用エレベーター	乗降ロビーの構造及び面積の確保の状況								
(35)			乗降ロビーの排煙設備の設置の状況								
(36)			乗降ロビーの排煙設備の作動の状況								
(37)			乗降ロビーの付室の外気に向かって開くことができる窓の状況								
(38)			物品の放置の状況								
(39)			非常用エレベーターの作動の状況								
(40)		非常用の照明装置	非常用の照明装置の設置の状況	○	○						
(41)			非常用の照明装置の作動の状況	○	○						
(42)	照明の妨げとなる物品の放置の状況		○	○							
その他の特記事項											
6	その他										
(1)	地下街等	地下街又は地下道に面する建築物の地下の部分	防火区画								
(2)			地下の構え又は地下道に面する建築物の地下の部分と地下道との関係								
(3)			地下道の直通階段の確保の状況								
(4)			地下の構えの各部分から地下道等までの歩行距離の状況								



その6

(5)	地下街等	地下街又は地下道に面する建築物の地下の部分	地下道の地上への開放性の確保の状況							
(6)			物品の放置の状況							
(7)		地下道に面する建築物の地下の部分	階段ホールの構造及び幅							
(8)			物品の放置の状況							
(9)	特殊な構造等	膜構造建築物の膜体、取付部材等	膜体及び取付部材の劣化及び損傷の状況							
(10)			膜張力及びケーブル張力の状況							
(11)		免震構造建築物の免震層及び免震装置	免震装置の劣化及び損傷の状況(免震装置が可視状態にある場合に限る。)							
(12)			上部構造の可動の状況							
(13)	避雷設備		避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の状況	○	○					
(14)	煙突	建築物に設ける煙突	煙突本体及び建築物との接合部の劣化及び損傷の状況							
(15)			附帯金物の劣化及び損傷の状況							
(16)		令第138条第1項第1号に掲げる煙突	煙突本体の劣化及び損傷の状況							
(17)			附帯金物の劣化及び損傷の状況							
(18)	自動回転ドア (条例第8条の7の規定に適合するものであり、かつ、自動回転ドアとして通常使用している場合に限る。)	構造	併設する自動式引き戸及び駆け込み防止さく等の危険防止装置の設置の状況							
(19)		作動の状況	自動回転ドアの作動の状況							

改善予定状況等

[illegible]



バームハイツ西葛西 : 江戸川区西葛西 3-3-13

案内図

調 査 結 果 図

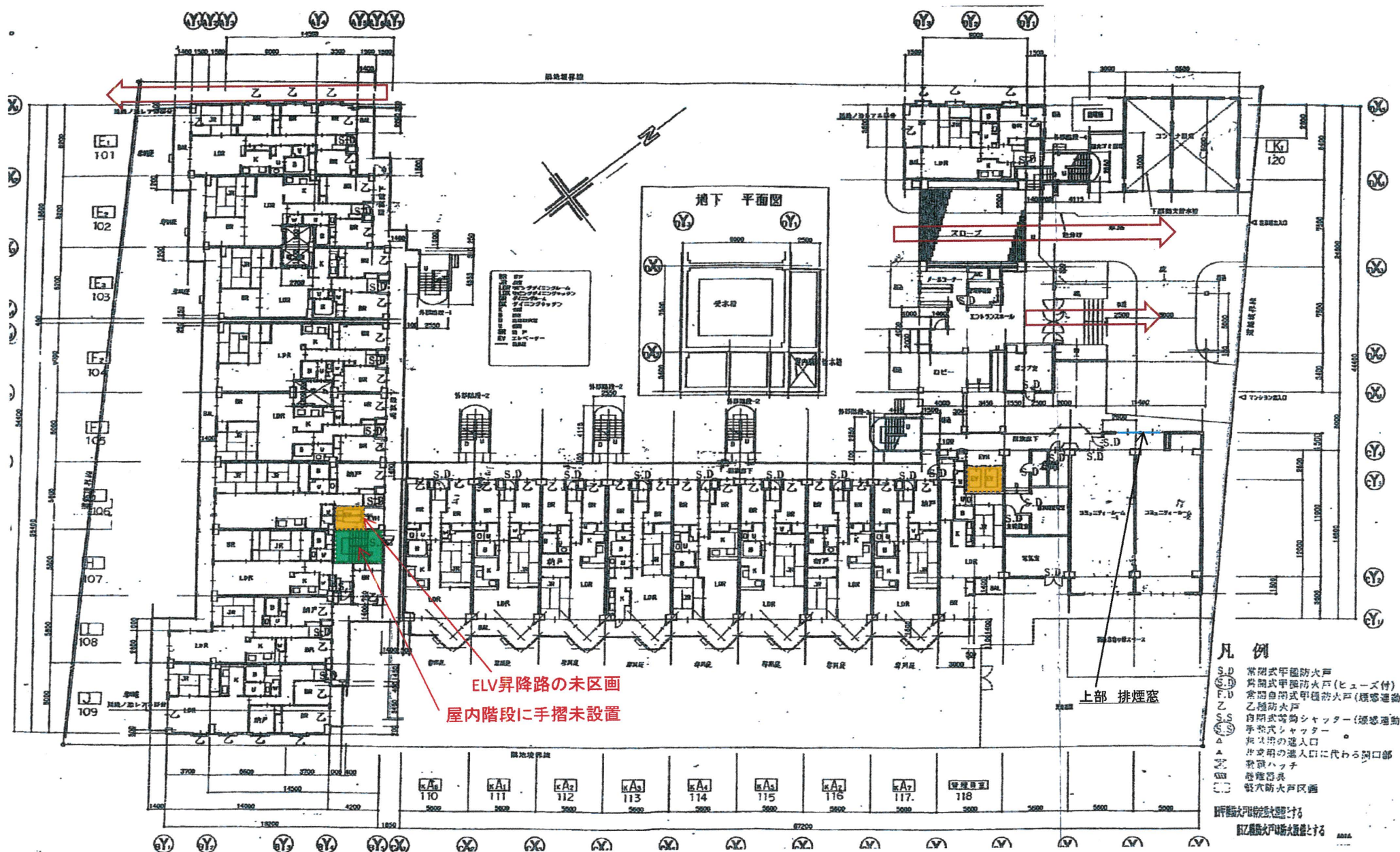
別紙図面添付

注）配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所（特記すべき事項を含む）や撮影した写真の位置等を明記すること。

番号	調査項目
1	敷地及び地盤
(1)	地盤
(2)	敷地
(3)から(5)	敷地内の通路等
(6)から(7)	共同住宅等の主要な出入り口からの通路等
(8)から(10)	窓先空地及び屋外通路
(11)から(12)	塀
(13)から(14)	擁壁
(15)	がけ
(16)から(17)	敷地に直接設置した広告塔及び広告板
2	建築物の外部
(1)から(2)	基礎
(3)から(4)	土台（木造に限る。）
(5)から(18)	外壁
3	屋上及び屋根
(1)	屋上面
(2)から(5)	屋上周り（屋上面を除く。）
(6)から(7)	屋根
(8)から(9)	機器及び工作物（冷却塔設備、広告塔等）
4	建築物の内部
(1)から(6)	防火区画
(7)から(17)	壁の室内に面する部分
(18)から(23)	床
(24)から(26)	天井
(27)から(35)	防火設備
(36)から(37)	照明器具、懸垂物等
(38)から(43)	居室の採光及び換気
(44)から(47)	石綿等を添加した建築材料
5	避難施設等
(1)	令第120条第2項に規定する通路等
(2)から(4)	廊下
(5)から(6)	出入口等
(7)	屋上広場
(8)から(12)	避難上有効なバルコニー
(13)から(25)	階段
(26)から(31)	排煙設備等
(32)から(42)	その他の設備等
6	その他
(1)から(8)	地下街等
(9)から(12)	特殊な構造等
(13)	避雷設備
(14)から(17)	煙突
(18)から(19)	自動回転ドア



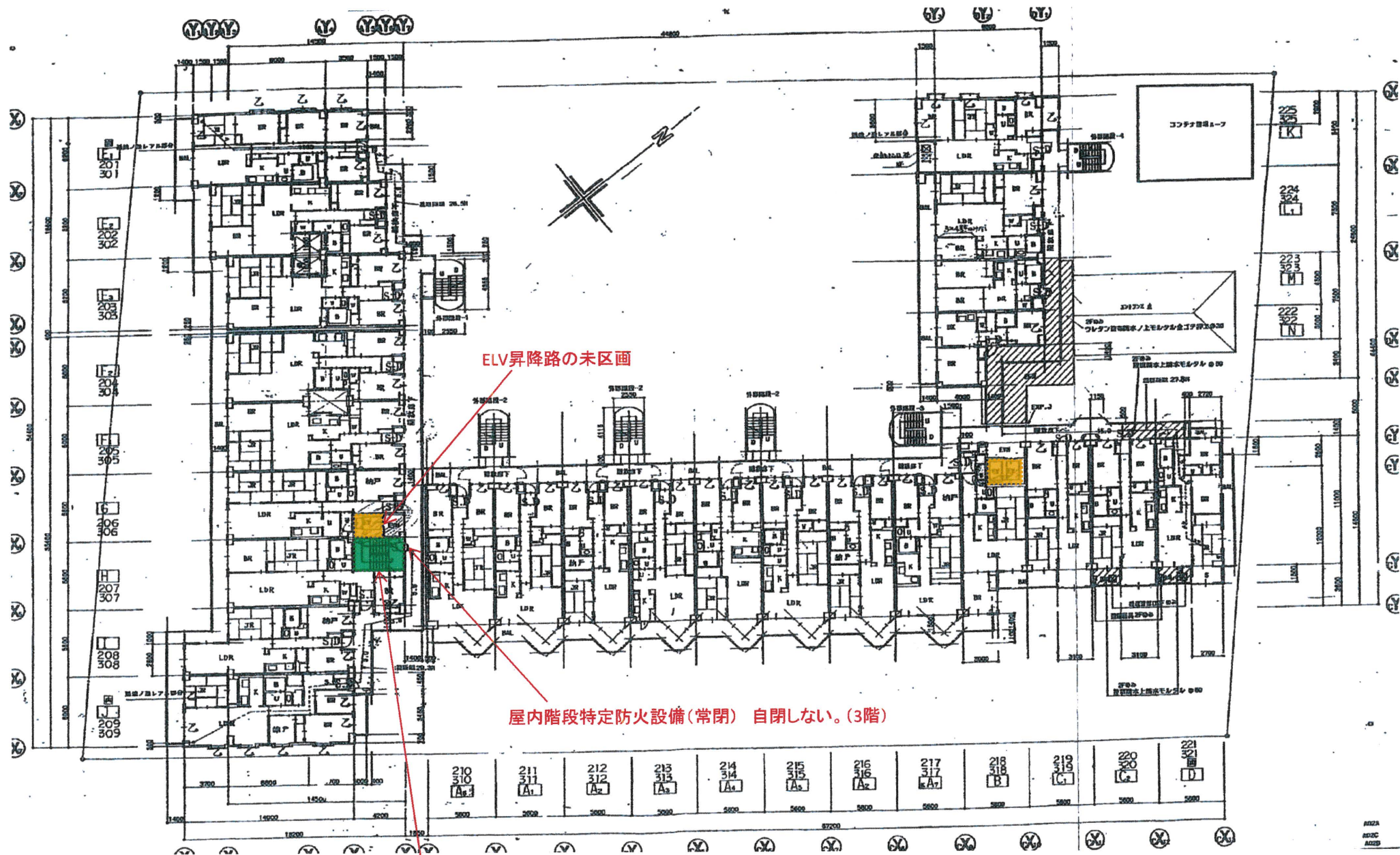




ELV昇降路  
階段区画

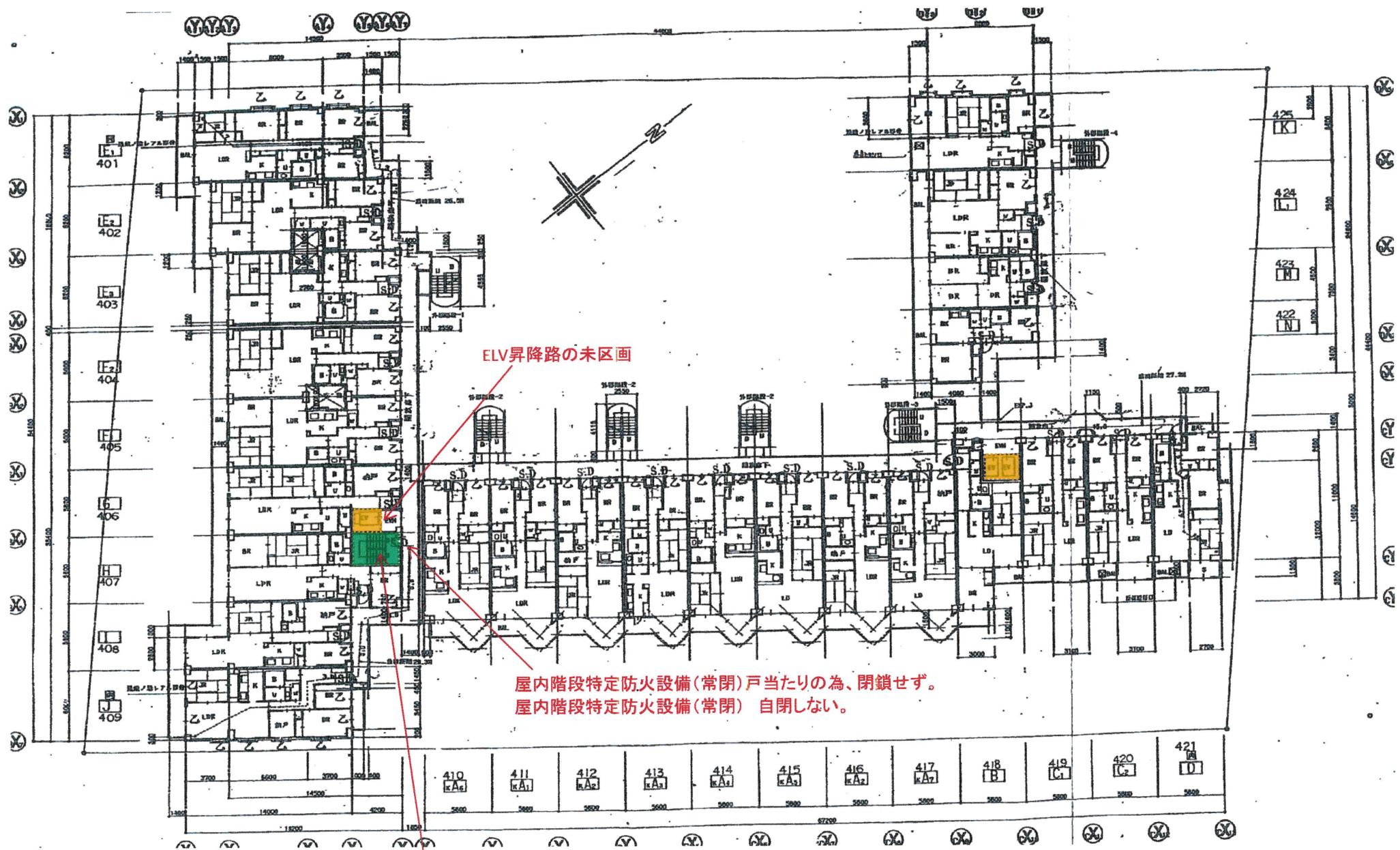
1階 平面図





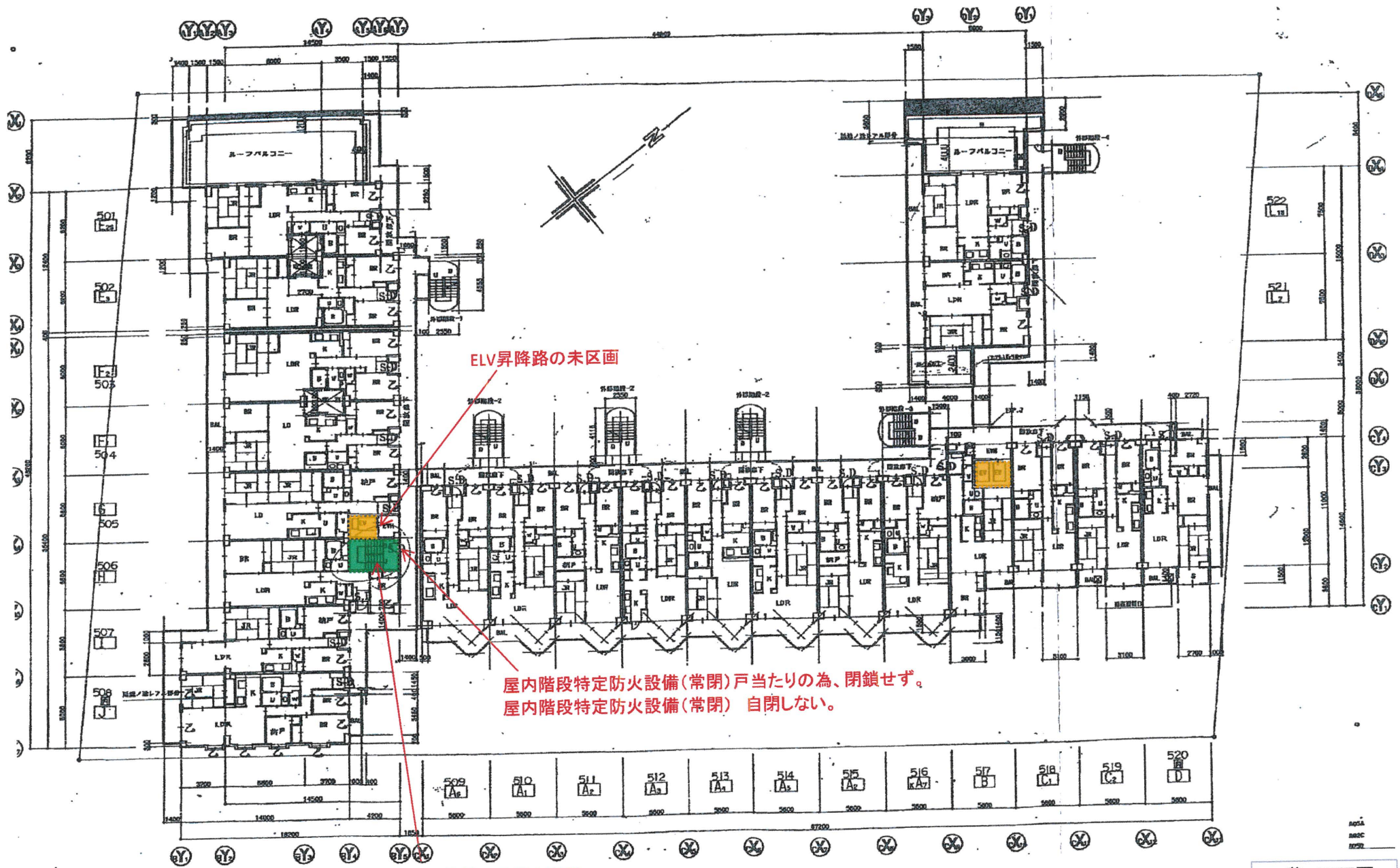
2~3階 平面図





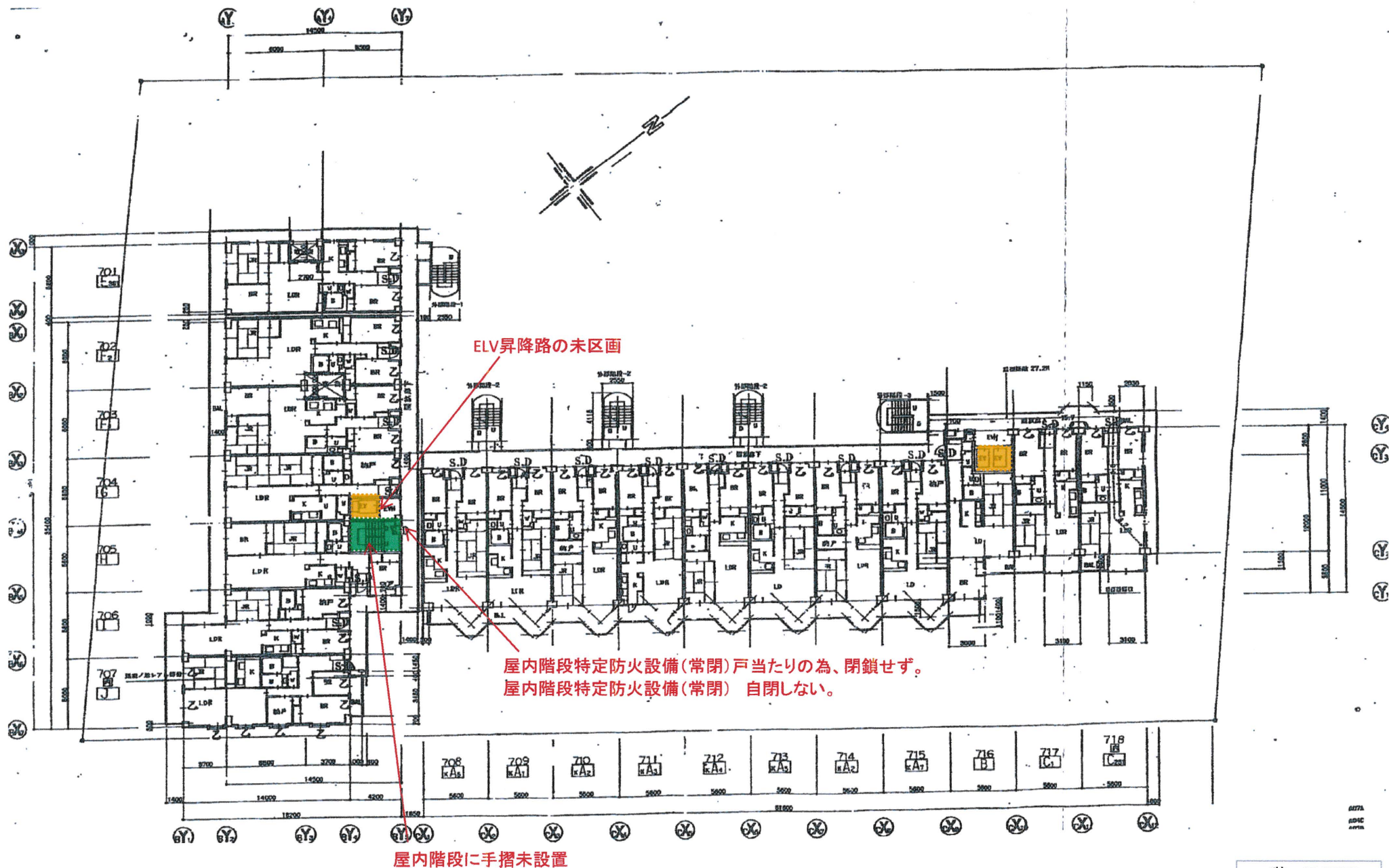
4階 平面図



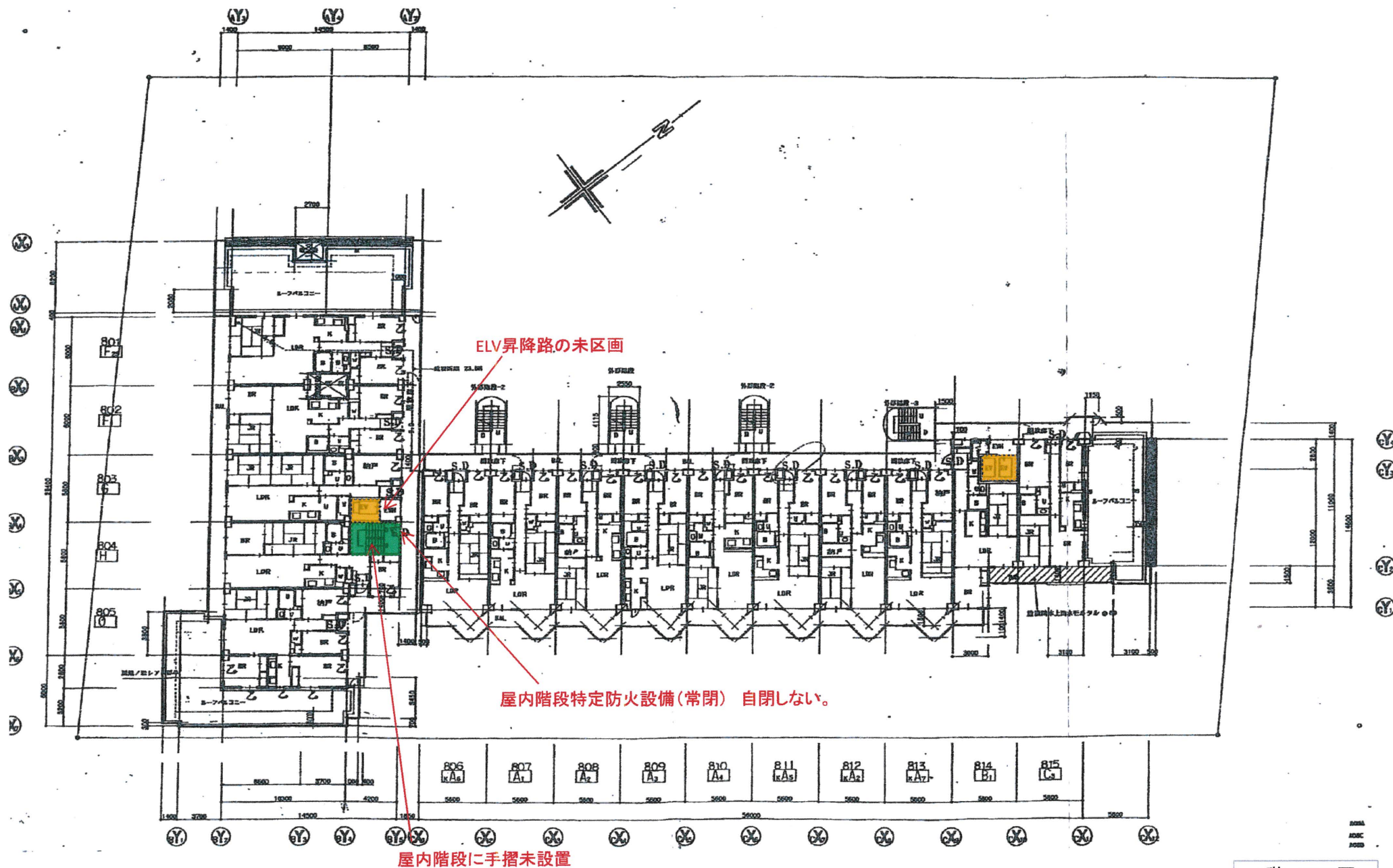




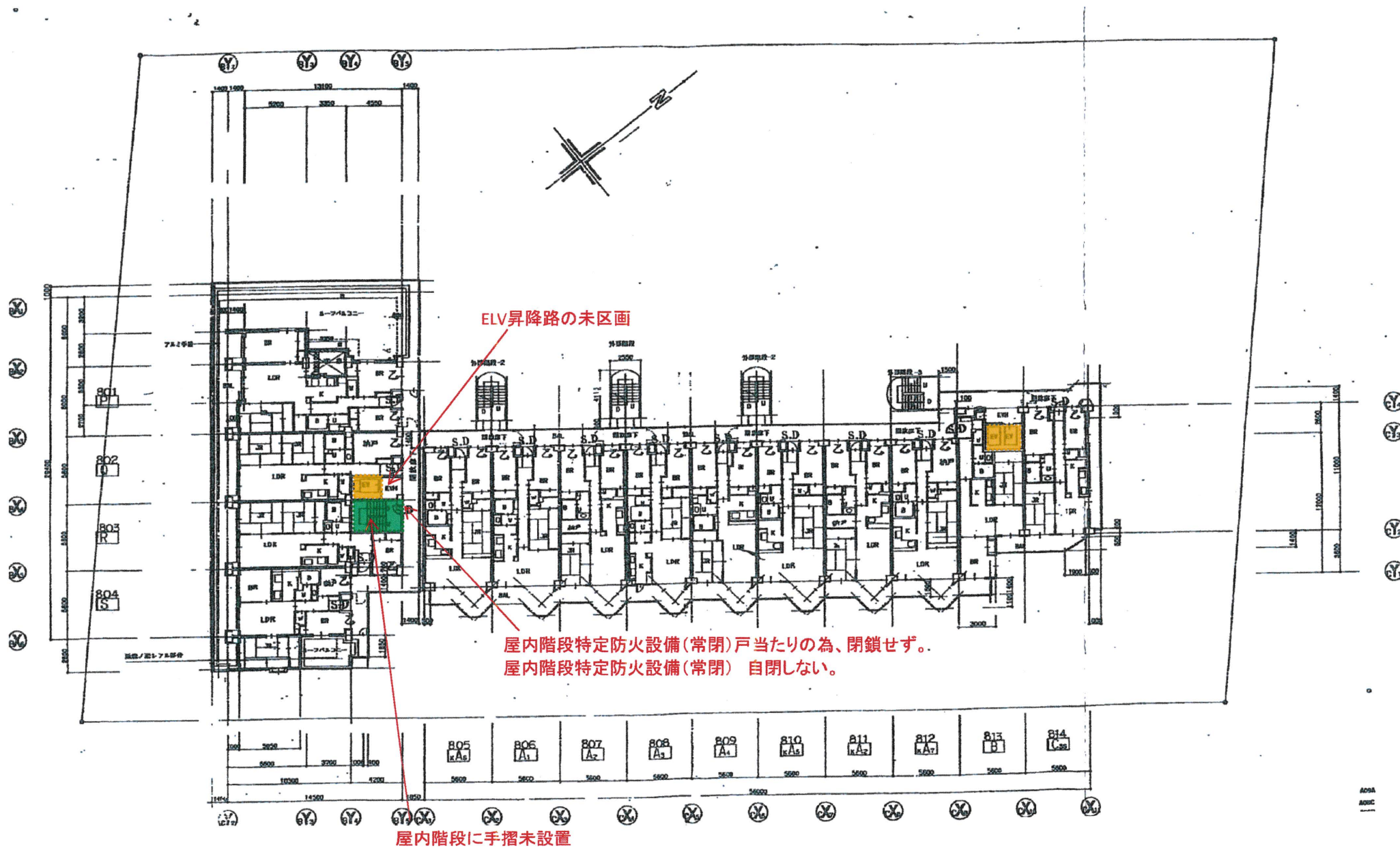




7階 平面図





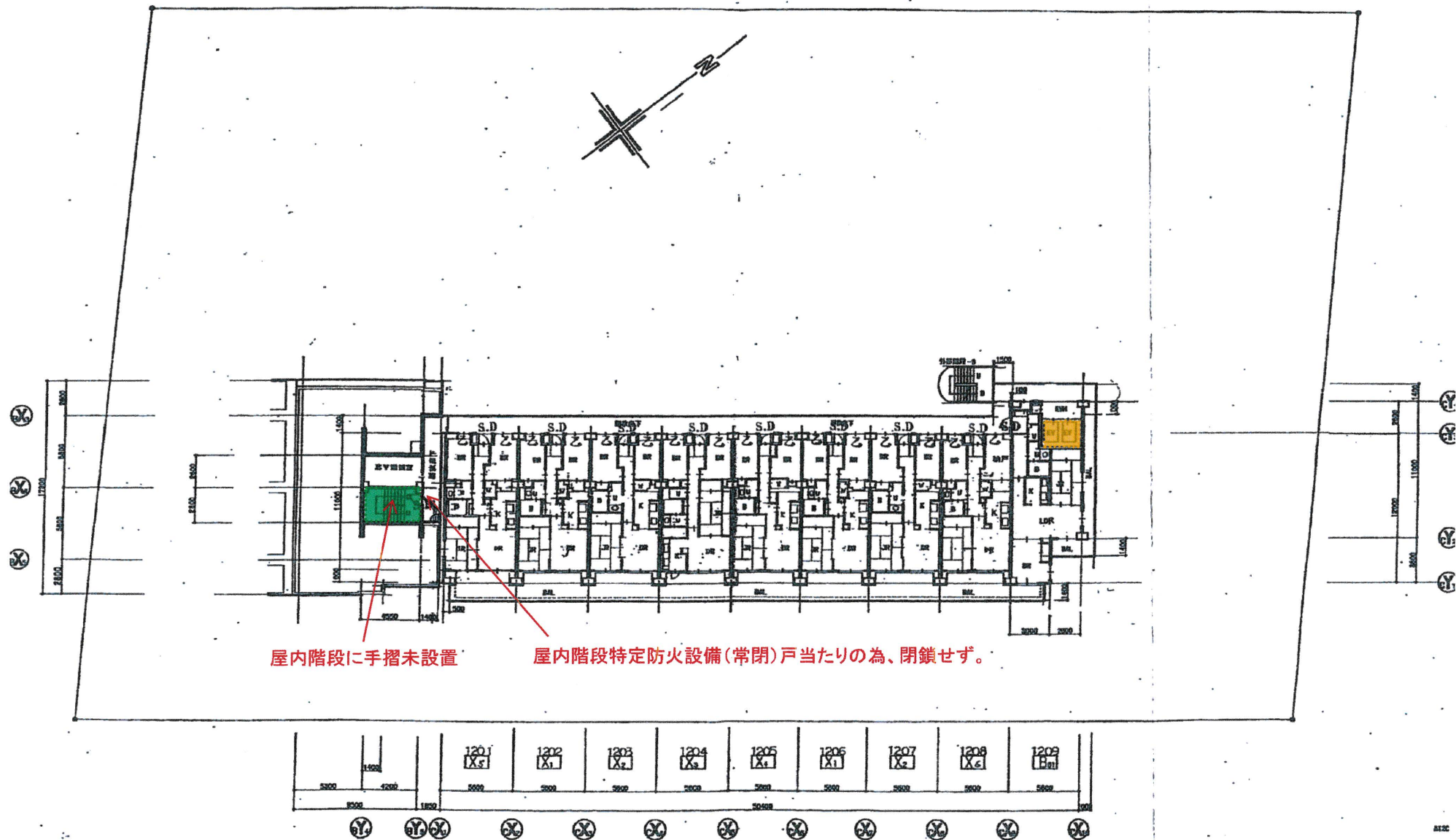


9階 平面図



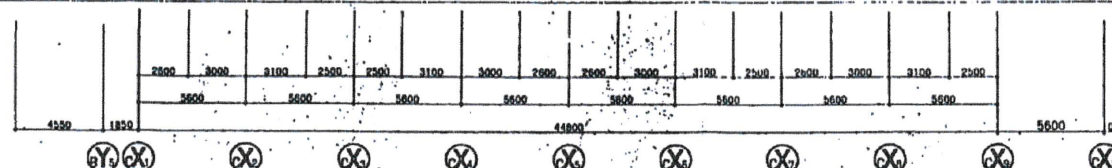
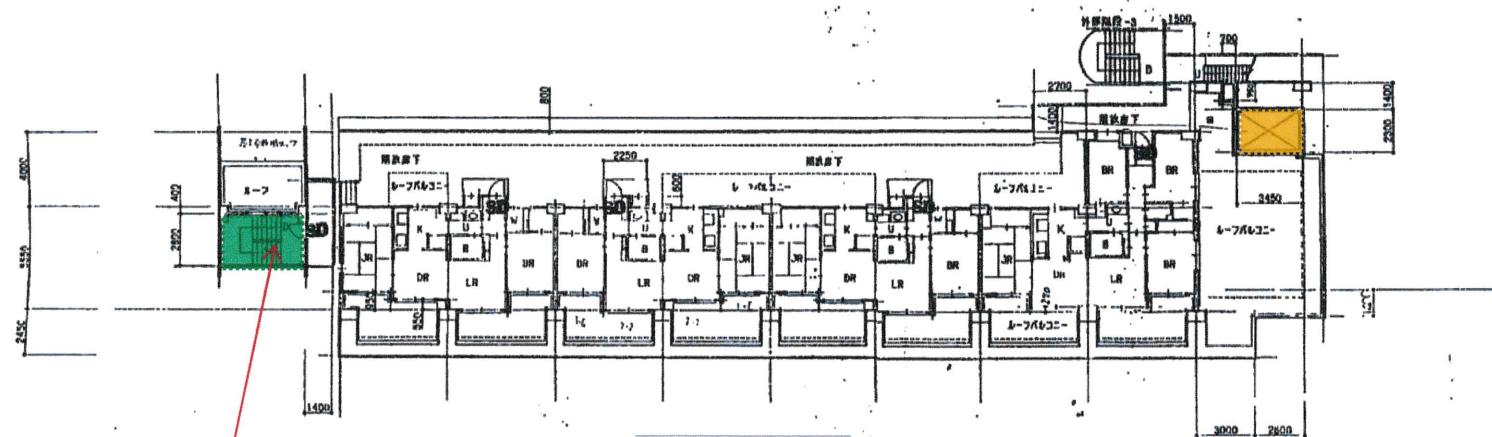
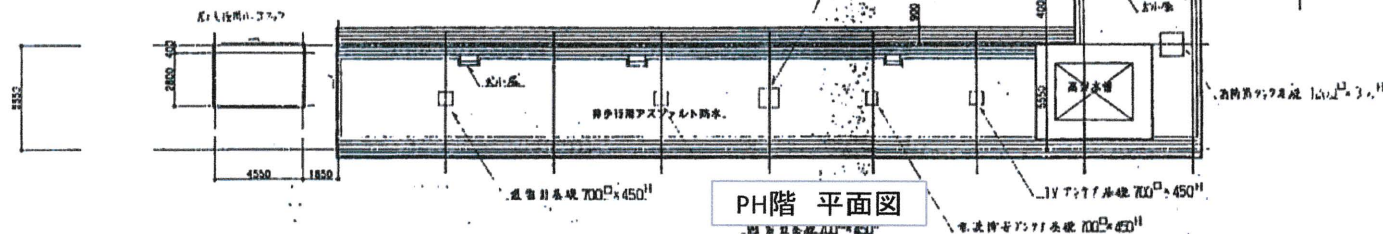







12階 平面図





- |       |                  |
|-------|------------------|
| S.D   | 常閉式甲種防火戸         |
| (S.D) | 常閉式甲種防火戸(ヒューズ付)  |
| F.D   | 常開自閉式甲種防火戸(燃感連動) |
| E     | 乙種防火戸            |
| S.S   | 自閉式電動シャッター(燃感連動) |
| (S.S) | 手動式シャッター         |
| △     | 非常用の出入口          |
| ▲     | 非常用の出入口に代わる開口部   |
| ■     | 避難ハッチ            |
| □     | 避難器具             |
| □     | 型大防火戸区画          |
- バルコニー 隣戸遊越とする

関係写真

部位	番号	調査項目	調査結果
	4 (32)	防火設備	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		特記事項	
			階段区画の防火戸が閉鎖せず
			(3階、4階、5階、6階、7階、8階、9階、11階、12階)
			ドアクローザー、防火戸又は枠の調整、改修要する。


部位	番号	調査項目	調査結果
	4 (32)	防火設備	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		特記事項	
			屋内階段特定防火設備(常閉)戸当たりの為、閉鎖せず
			(4階、5階、7階、9階、11階、12階)
			防火戸又は枠の調整、改修を要する

(注意)

- ① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」でない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「調査結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。



関係写真

部位	番号	調査項目	調査結果
	4 (33)	防火設備	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		特記事項	
		屋内階段特定防火設備（常閉）    自閉せず。	
		（3階、4階、5階、6階、7階、8階、9階、11階）	
		ドアクローザーの交換、調整、改修を要する	

部位	番号	調査項目	調査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付		特記事項	

(注意)

① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」でない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対応したものを記入してください。

④ 「調査結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。